

令和 2年 4.30 受付

第 号

相互提案型協働事業実施報告書

令和2年 4月30日

(宛先) 座間市長

団体住所 座間市入谷東2丁目8番2-914
 名称 ざま災害ボランティアネットワーク
 代表者氏名 濱田 政宏



市 担当課 子ども育成課

所属長 正田美知子



次のとおり報告します。

1 提案事業名	児童ホームの防災対策事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動併団体提案事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
選考年度	平成31年度選考 (令和元年度実施)
2 報告期間	平成31年 4月1日から 令和2年 3月31日まで
3 事業予算	200,000円 (うち座間市支出分170,000円)
4 提案概要 (事業内容等を 450字以内で御 記入ください。)	<p>当市における「防災教育」は、総合の学習の時間などを活用して着実に推進されています。当団体も学校とつながりお手伝いをしています。ところが、放課後または早朝の保護者がいない時間帯に災害が発生した時に児童ホームの子供たちは誰が守るのか？</p> <p>どのような形で各施設は対応するのかという点が明確に示されていないように感じ数年前から事業化の提案をしてきました。</p> <p>児童ホームは、学校と自宅での生活の狭間にあり非常に微妙な立場にあります。私たちは災害時の利用者の安全確保、スタッフの対応行動さらに施設の安全環境の課題など、児童ホームの利用者である子どもの「いのち」が失われることなく保護者へ引き渡すことができる体制を、3年をかけて整備したいと考え事業の提案を行い承認をいただき、スタートに当たって、前年に行った、指導員に対する研修を一步進めて、防災対応ワークショップを全ホーム指導員を対象に実施しました。初年度は児童ホーム形態別に3つの施設に対して観察・訓練・指導活動実施しました。</p>
5 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業収支計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 制作した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 (研究のみ)

相互提案型協働事業評価シート

事業名	児童ホームの防災対策事業
-----	--------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	<p>所期の目的は、十分達成できましたか。</p> <p>概ね達成できたと考える。しかし、最終的な詰めはコロナの影響を受けてできない部分もあり次年度に取り返したい。</p>	<p>児童ホーム指導員全体での防災研修会を実施したことで全ホーム共通の防災に関する認識を持つことができた。</p> <p>施設の特徴が違う3つの児童ホームでは、例年の防災訓練で取り組んだことのないメニューに新たにに取り組んだ。</p>
	<p>事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。</p> <p>我々も実施前にあまりよく見えていなかった児童ホームの活動内容が明確に見ることが出来た。短い時間であったが、直接児童と触れ合うことによって、彼らの気持ちそれを見守る児童員の方のご苦勞が見えてきた。マニュアルを作るにあたっての課題も見えてきた。</p>	<p>児童ホーム指導員対象の研修会では児童を災害から守る知恵や、発災後の初動対応についてワークショップを通じて学ぶことが出来、防災意識の向上に繋がった。</p> <p>いつも違う施設で働いている指導員がランダムで混ざって実施したグループワークではそれぞれの考え方を共有することが出来た。</p> <p>施設の特徴が違う3つの児童ホームで防災訓練（避難訓練、消火訓練）を実施したことで、危機管理マニュアルに反映する内容や、特性毎に気を付けるべきことが分かった。</p> <p>児童たちは防災訓練の後、ゲームにて防災の知識を楽しく学ぶことが出来た。</p>
事業成果・効果		

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	<p>十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。</p> <p>当初の、指導員に対する研修の進め方についてはかなり詳細な打ち合わせを進めることが出来たと考えます。課題の目標、今後のあるべき姿についての共有はできたと思うし、活動に参加した我々のメンバーの中でも活動の意義は共有することはできたと考えます。</p>	<p>訓練の実施やフィードバック、防災マニュアルの見直しによって、本事業を明確に位置づけることにより、共通の認識が深まった。</p>
事業の進行管理	<p>進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。</p> <p>直接の担当職員とは以前の職場でも長年にわたって防災・減災について活動を共にしてきたので進行の管理は旨く行ったと思うが、後半は、新型コロナウイルスの対応で折衝する時間に制約が出来て詰めは完全にできたとはいえないと考える。次年度には取り返したい。</p>	<p>定期的な打ち合わせにより、予定していたスケジュールの変更も大きな混乱を招くことなく進行できた。</p>
対等な関係	<p>協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。</p> <p>前述のことからも、対等に関係を維持できたと考える。</p>	<p>事業実施機関の打ち合わせや話し合い、職員の訓練への参加により、対等な立場で協議することが出来たと考える。</p>
相互理解	<p>相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。</p> <p>事前の打ち合わせなどを通じて、協働事業の前年度に行った指導員研修などから当団体のことを理解していたき関係性が確立できたこともあり双方の抱く課題は理解しあえたと考える。</p>	<p>互いの対場や組織の特性の違いのおかげで、補える関係は築けた。今後、意見の相違部分については調整を図っていきたい。</p>

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果すことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <p>事業全般の企画・進行・実施 研修の企画、準備、講師・フェシリテーターの手配 研修プログラム・資料の作成 各施設での実際の指導・活動 指導員へのヒヤリング 消火訓練の体験指導 児童へのシェイクアウトの安全行動の指導と避難訓練 防災ゲーム まとめ</p>	<p>(市の役割)</p> <p>研修会会場の確保と借用手続きの実施 研修会資料の印刷、参加指導員との調整 研修会ワークショップ結果のまとめ、報告 訓練対象児童ホームとの調整</p>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正だったと思う。	適正であったと考える。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	概ね役割分担は果たせたが、最終の成果物は新型コロナの影響で、最終的な詰めについては時期の事業開始前までに行う予定。	役割分担は果たせたと思う
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	出来たと思うが、担当課が新型コロナ対応で思うような調整が出来なかった。また、なるべく人に会わないという指示のために思うように活動ができない面もあった。	災害、危機管理の対応を実際に被災地で活動してきた団体にノウハウがあるため、訓練の内容やハンドブックの内容についても有意な意見を反映し、実施することが出来た。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	(団体の考え) 引き続き、未完成の部分を詰めて成果物の完成を急ぎたい。	(市の考え) 令和元年度訓練を実施した3施設には、訓練で実施した内容を今までの防災訓練に反映していきたい。 訓練内容を見直し、マニュアルの見直しを行っていきたい。